

弁護士法人福間法律事務所

代表弁護士 福間 則博、弁護士 尾崎 悠吾

〒665-0845 兵庫県宝塚市栄町2丁目2番1号ソリオ3(5階)

TEL: 0797-87-5606 FAX: 0797-87-7160

HP: <https://www.fukuma-law.com/>

Mail: office@fukuma-law.com

執筆: 弁護士 福間 則博



Legal F : Forces for Friends, Families and Fortunes (友人、家族、財産を守る力)

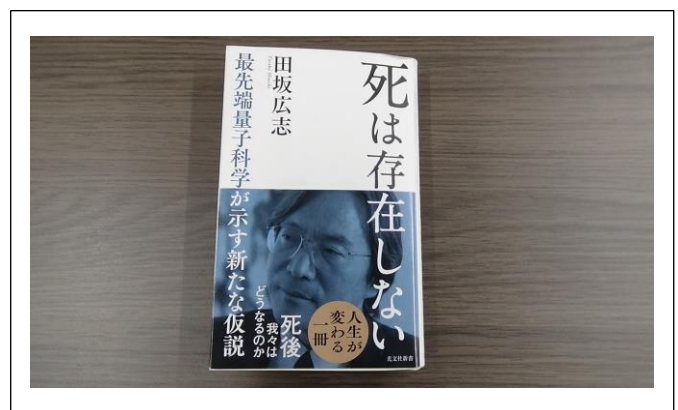
田坂広志著「死は存在しない 最先端量子科学が示す新たな仮説」(光文社新書 2022年10月)

- 1 本書は著者の最新刊であり、「死とは何か」という問題に対する著者の長年にわたる探究の成果を述べたものです。「死とは何か」という問題は「生とは何か」という問題に連なり、「生の担い手である私たちは一体何か」という問題に連なっています。
- 2 著者はこれまで様々な分野に関する多数の著書を著し、その数はすでに100冊余りになっているとのことですが、著者は、このニューズレターNo.20でも紹介した「すべては導かれている」(2017年)において、人生の全てを無条件で完全に肯定する考えを明らかにしており、その思想は著者の個人的な体験に深く根ざすと共に、現代の最先端科学である量子力学に基礎を置くものでした。私はその境地の明るさと力強さに惹かれ、著者の他の著作を読んでいくとともに、特に量子力学に基礎を置くゼロ・ポイント・フィールドに興味を持ち、その更なる展開を期待していたところ、本書が登場した次第です。
- 3 著者は、他の著書において「知性とは、答えのない問いに対して、その問いを、問い続ける能力」であり、「生涯を賭けて問うても、答えなど得られぬと分かっている、それでも、その問いを問い続ける能力のこと」としてありますが(「知性を磨く」2014年)、本書はまさにその能力が存分に発揮された書であり、その強靱な知性なくして本書は出現しなかったと言えるでしょう。

4 死とは何かという問いに対し、私たちが死を体験したときには私たちはこの世にいないという関係から、死を論ずることは極めて困難となり、その議論は往々にして思弁的、観念的、抽象的にならざるを得ません。

しかし、著者は、東京大学卒業後に同大学院で原子力工学の博士号を取得したという経歴が示す通り、極めて科学的な態度でこの問題に取り組み、最先端の量子力学が到達した「事実」を十分に明らかにした上で、「仮説」を明らかにしていきます。

5 仮説の説明ないし論証は極めて着実かつ丁寧であり、読者は著者の思索に導かれ深い認識ないし境地に到達していきます。その深さは私の期待を遥かに超え、本書を生きている間に(つまり、死を体験する前に)読めたことに深い喜びを感じた次第です。「随分、遠くまで来てしまった」とは本書の論考部分の最終章にあたる第12話の文章ですが、一読者としても「随分、遠くまで連れてきていただいた」という思いに至るものでした。



宝塚 Legal F NEWS vol.22

6 本書は、死を科学的に考察するという立場から書かれていますが、意図せざる効果として、個人の救済にもつながる側面があるように思います。

7 そして、本書は、ある種の対立的状況に陥っている宗教と科学について、宗教界と科学界に対し、今後の目標とすべき地点ないし方向性を示すという歴史的な意義を持った書ではないかと思えます。

このような方向性の明示は、コーワン博士の構想の下でノーベル賞受賞者3名によって設立されたサンタフェ研究所を著者が訪れた際、同博士から直接聞かされた、最も必要な人材である「スーパージェネラリスト」の役割を壮大なスケールで行うもののように思われた次第です。

以上